五分館だより

第３９号
豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 三晃印刷(株)

堀越の今日
H.14.1.1現在
戸数　９０戸
人口　３７９人

「松茸山」の作り方

松茸山講習会が、長野県林業センター特産部長の小出先生をお招きして開催されました。

先の館報にも記載されていましたが本年は予想に反して松茸が不作でした。その原因は九月上旬の低温と中旬の残暑の戻り更に中下旬の降雨不足だと長沢試験地のデータを元に解説されました。

本題の松茸山の作り方については、まず健全な赤松林を作ることが第一とのことでした。松茸のシロの一生と赤松の林齢は非常にじゅうようで、二十年前後でシロができ始め五十年前後が最盛期となり七十年を過ぎるとなくなりそのシロの内側は嫌地化して二度と松茸は出ないそうです。それも松茸に適した状態が維持できてのことです。松茸が出なくなってから対策を立ててもその後二、三十年はでません。そのためには若い赤松林を今から手入れをして育てること、また今出ている山の寿命を延ばすためには適切な山の手入れをすることが重要とのことでした。

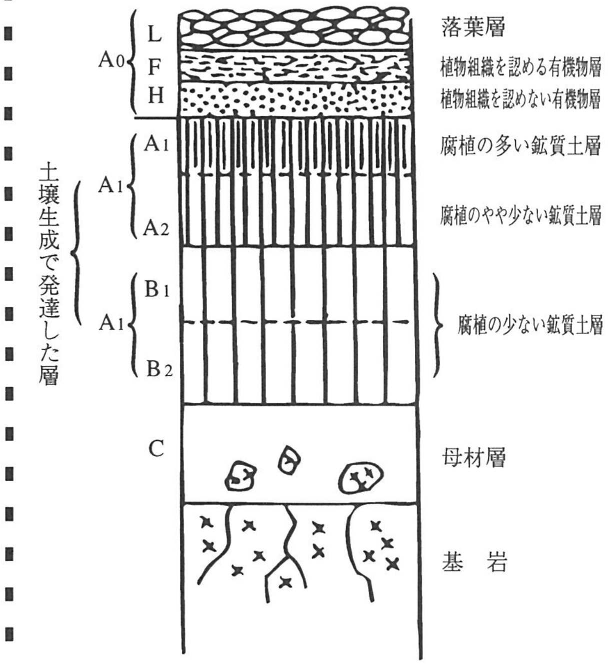
近年松茸の生産が全国的に減少する中で生産量を維持しているのは岩手県と長野県のこの辺りだけだそうです。この貴重な山の恵みを末永く受けられるように山の手入れと育成をして下さいとの事でした。

以上ごく簡単な報告とさせて頂きます。

北林　弘

マツタケ山適地判定基準

適	項目	不適
古生界砂岩、第三系砂岩、花崗岩	地質土壌	石灰岩、火山灰地
乾き気味で小石混じりの褐色な土壌	土壌	湿って黒色化した土壌
尾根、山頂、凸形斜面	地形	谷筋、山ろく、段丘、扇形地形
10～20年生	林齢	35年生以上
アカマツ支配型	林型	広葉樹支配型
天然生、人工植栽＋天然生		人工植栽
密　(4～5千本/ha)	立木密度	疎
厚さ10cm以下。特にH層がないか、ごく薄いところ	有機物層（落葉）	厚さ10cm以上。H層の分化がみられるところ
占有率20％以下のところ	雑菌根層	占有率20％以上のところ
発生が少ないところ	雑キノコ	発生の多いところ
疎で成育不良なところ	下層植生	密で成育の良好なところ
前代にマツタケ発生のあったところ	前代林	前代にマツタケの発生なし



土壌断面層位の模式図
（『森林土壌の調べ方とその性質』から）

素朴な祭りを次世代へ

結婚して堀越にくるまでテレビ以外に獅子舞は見た事がありませんでした。初めて新婚初宮で巡回して頂いた時は、その独特な屋台獅子に感動しました。以来、長女、次女の初宮、今年は長女の入学と節々に大勢の方々に祝って頂ける事は大変ありがたく、子供達にも身近な行事が強く心に残っていくと思います。

春日神社春季祭典では、保育園児の屋台引きに参加させて頂いて今年で六回目になりました。大勢の保存会の方が後ろで支えて下さる中、まるで自分が引いているかの様に力を込めている姿はほほえましく、楽しいひとときを過ごせました。

子供の数も年々減少し淋しくなってきますが、保存会の方々の努力と、地域の皆様の協力で行われているこの素朴な祭りが、今後時代がさらに進歩したとしても、次の世代へとずっと受け継がれていって欲しいと思います。

林　葉子

黒谷箋

二〇〇二年を向かえ、正月早々に雪に見舞われた。昨年の再来かと心配したが、たいした降りでもなく、とりあえず安心。

毎年の事であるが、雪が降れば降ったで「どうなるものか・・」と心配し、降らなければ降らないで「春、夏の水不足はどうか・・」と心配し、自然に翻弄されることしばしば。自然相手にどうこう言っても仕方のない事ではある。

ところで、人それぞれに天候への思いは違うようで。スキーヤーにとって雪はなくてはならないもの。でも降り過ぎるとスキー場にも行けなくなってしまう。

梅雨には雨が降って欲しいもの。でも降り過ぎると野外での仕事が出来ない。

夏は暑いのに限る。でもたまには雨も降って涼しくなって欲しい。

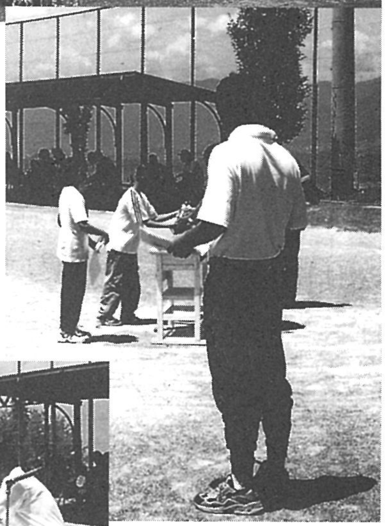
そんな天候に対する百人百様の思いや願いとは裏腹に、冬だと言うのに梅雨時のような暖かい雨が続いた。天気予報はけっこう当たっているようだが。

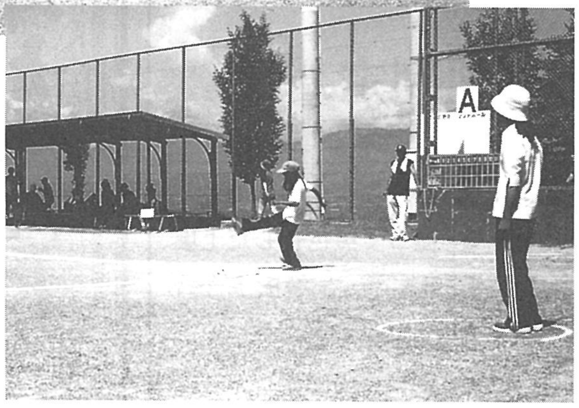
さて、世の中の景気予測も予測だけでなく、天気予報なみに良い方に当たって欲しいと願うばかりである。

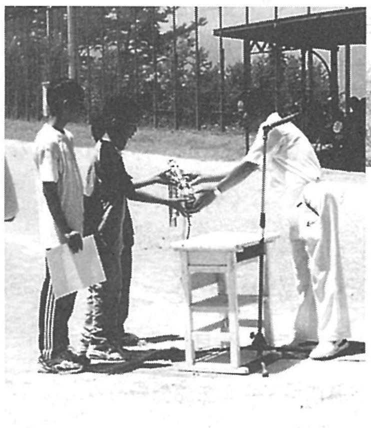
武田　伸洋

小学生キックベース

平成十三年七月十四日晴天の中、豊丘村民グランドにて、村内小学生による地区対抗のキックベース大会が催されました。
我が堀越では血気盛んな高学年を中心に、二チームの参加。いずれも対戦ブロック内で準優勝の成績。（これってけっこういいせんいってる？）

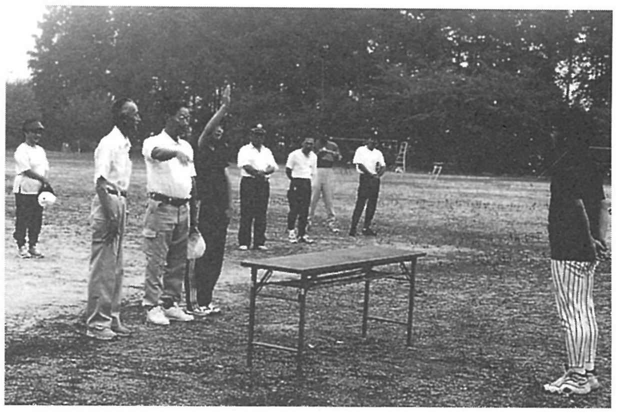






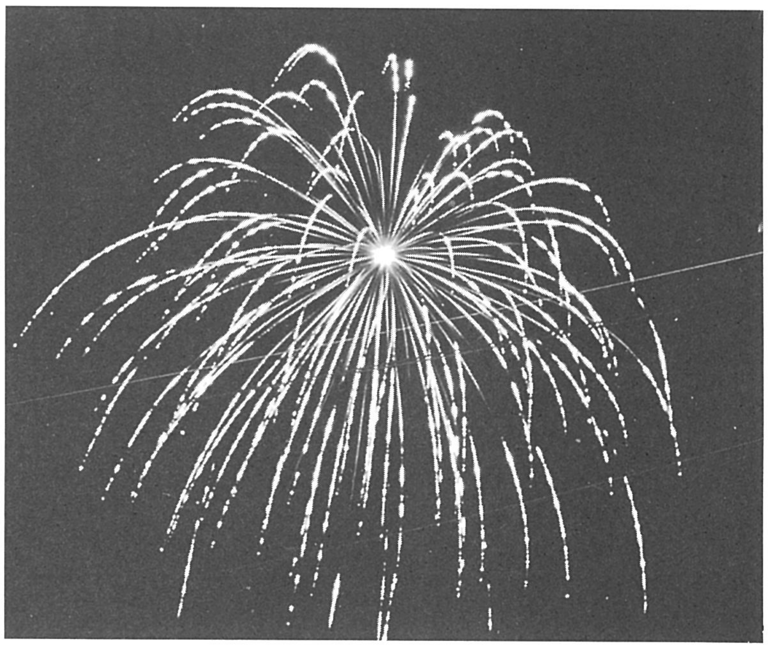
球技大会

平成十三年七月二十日堀越恒例の球技大会が開催された。
ゲートボールは、七月十五日に予選が行われ、決勝トーナメントを残すのみ。
各部落からはそれぞれの種目へ精鋭が送り込まれ、皆優勝を狙っている。
今年も好天に恵まれ、炎天下の中激戦が繰り広げられた。



納涼祭・二十一世紀記念事業

平成十三年八月四日



堀越区民大運動会

平成十三年十一月三日

十一月三日堀越区民運動会には駒沢部落が優勝する事が出来ました。役員スタッフの皆様、雨の中全種目行う事が出来ず残念でしたが本当に御苦労様でした。

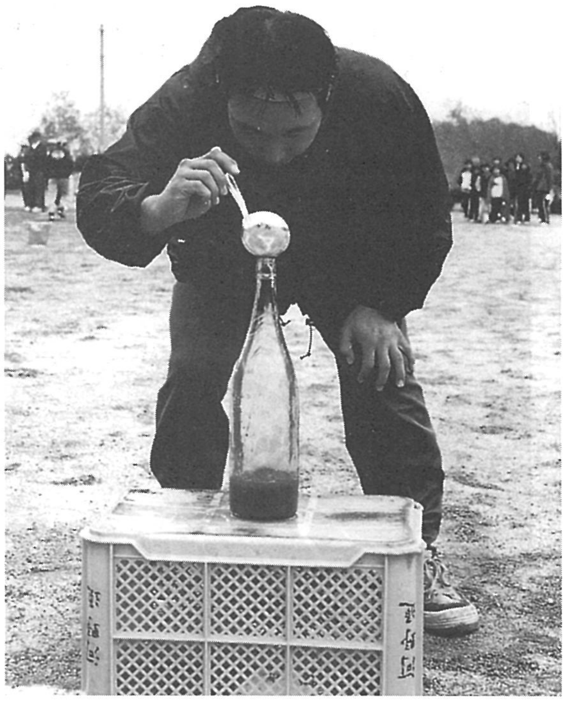
駒沢部落が二連覇した構想を部落紹介をかねてのべさせて戴きます。世帯数現在十五世帯です。世帯家族構成は四世代家族を頭に三世帯代家族合せて来春には九世帯になります。そして六十五歳以上の高齢者が二十二名明るく過しております総人数が来春に六十七名になると思います。一家は主婦で持といわれ三世代家族は理想の家族家庭に勝る教育はないと私は思います。

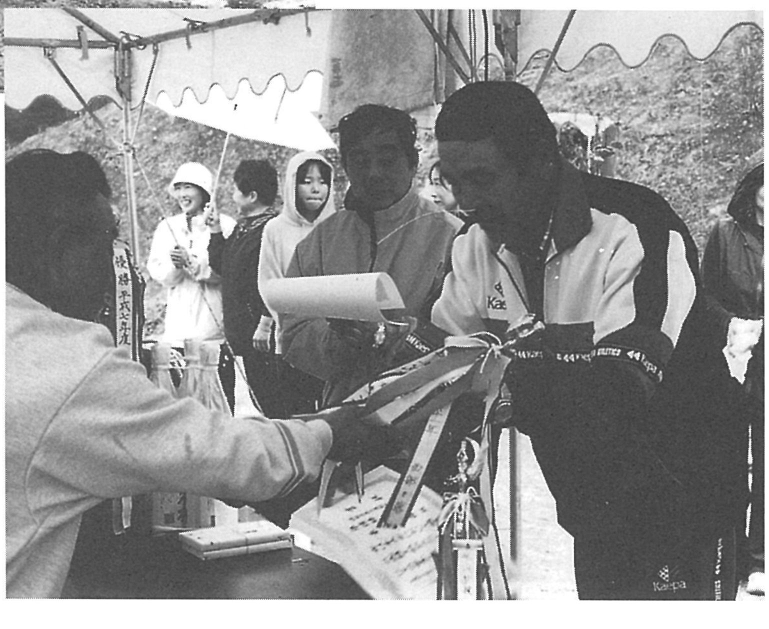
今年は二十一世紀出発の年駒沢部落は新年会を婦人合同で行っております。新年を祝い一年間の健康和楽繁栄を記念して毎年部落婦人部長の音頭で万歳三唱を声高々に唱話しております。

二十一世紀出発の年に当り各家族全員「憩の家」でお花見をしました。団結と和楽の駒沢部落として明るく生活しております。其の成果が夏のソフトバレー優勝と運動会の優勝と相成ったと思います。婦人部の底力には感謝しております。

最後の慰労会には公民館役員の万歳で三連覇目指そうと大拍手で団会致しました。

駒沢部落　松村　喜由





優勝		駒　沢
準優勝		東
３	位	堂平・菖蒲ヶ沢
４	位	中宮１・２
５	位	西　部
６	位	上垣外
７	位	中宮３・４
８	位	胡　芝

分館報発行がおそくなり大変申し理由ありません。原稿依頼をした皆様にご迷惑をお掛けした事をお詫びいたします。